



## 鷺の宮卓話

### 「見える」ということ

太田敬雄

群馬の短大で、一人の不思議な学生に出会いました。何かにつけ、彼女の動きは他の人と違っていたために、「面倒な学生」というイメージが有ったような気がします。

ある日、何人かの学生と共に路線バスを待つて居た事がありました。その学生はベンチに座っていたのですが、突然立ち上がり「バスが来た」と言うのです。当時、私はまだ視力はかなり良かったのですが、長く真っすぐに続く道の先にはバスなど見えません。けれども彼女はバスに乗る体制で待っているのです。少し間を置いて、私や他の学生にもバスは見えました。

聞けば、彼女の視力は2.0だと言っていました。恐らくそれ以上は計れなかっただけで、本当はそれ以上だったのでしょう。自分だけが見えている事は日常茶飯事だったようで、彼女はその事を気にも止めていないようでした。

このケースはレアで、余り車も走っていない直線道路での出来事でしたから、視力の違いだけだったのだと気づけました。しかし、それまでに彼女の動きを奇異に思ったことは何度も有りました。彼女は「変人」だったのではなくて、単に視力が人並み外れて良かっただけだったのです。教師の私にとって、学生を見る目が大きく変えられた出来事でした。

同時に、視力の違いによって見える世界が変わることも悟られました。私の視力は元々良かった方でしたが、最近はずっかり目が衰えて、

歳相応に見えなくなってきました。これは単に昔は見えていたものが見えなくなったというだけでは無いのです。例え世界に変化は無かったとしても、今見えている世界は昔とは異なって見えるのだという事です。

一人の人物が見る世界も時間の経過で異なるものが見えるのですから、人間一人一人に見えている世界はみんな違うのだらうと思われます。人の視野の広さも人によって異なり、歳と共に変わるようです。さらに、これは2022年6月のNHK、物知りバラエティが取り上げていたのですが、「人によって、同じ景色でも違う”色”で見えている」と言うのです！

例えば、黄色が特徴的な絵を描くゴッホは実は赤が見えなかったのではないかと言うのです。色覚には多様性が有って、2型色覚は形を捉え、3型色覚は色を見分けるそうです。夜行性の動物は2型が多く、人間は3型が多いのだけれども、2型や2型と3型の中間が有り、色や形の見え方が違うのだそうです。NHKでは色や形の「見え方の違いは”個性”であり、協力し合うことで人類は生存競争を生き抜くことができた。」と結んでいました。

今日、私たちは見え方の違いや見える範囲の違い、色の違いを“個性”と認めて、協力し合える世界を構築できているのでしょうか。違うから素晴らしいと認め合い、補い合う事が出来ているのでしょうか。

見え方の問題はたった一つの小さな一つの例でしか有りません。私たちは全てにおいて違いを認め合い、協力し合える世界を作り上げているのでしょうか？違いに優劣をつけてはいないのでしょうか？

## 安中市長訪問

今年、安中市長選挙が有り、これまで2期、8年間お世話になってきた茂木英子前市長に代わり、岩井均氏が安中市長に当選されました。長年群馬県議会議員として活躍され、県議会議長も務められた岩井氏の登場に多くの方々の期待が寄せられています。IIMSとしても岩井市長とは長年のつながりも有り、すでに活動は知って

頂いているかと思いつつ、今年8月の「多文化交流オンライン」と9月に予定している「多文化交流 in ぐんま」を知っていただきたくオンライン直前に学生達と市長訪問をさせていただきました。学生達、唐沢実里は「第5回多文化交流オンライン」を、須川奏は「多文化交流 in ぐんま」を岩井市長に報告しました。さらに、多文化交流をスタートさせて今年で20年になりますので、その報告も併せてさせていただきました。



太田敬雄 唐沢実里 岩井均市長 須川奏 太田琢雄

## オンライン多文化交流

みなさんこんにちは。学生スタッフのリコっち（中曽根莉子）です。8月27日（土）に「第5回 多文化交流オンライン」を無事に開催することができました。今回は日本、インドネシア、韓国の国籍を持つ学生から社会人の参加者が集まり、互いの文化について知り、ゲーム等を通して、仲良くなることを目指した交流を行いました。

交流会の準備は今年の5月から約3ヶ月間、ZOOMでのMTGを通して行われました。企画は3カ国のスタッフが合同で行いました。母語や国籍が異なる者同士でのミーティングは時に難しいです。育った環境や文化、言語、習慣は違うため、考え方や捉え方など違う部分があると思います。そのため、スタッフはお互いを配慮しながら企画の計画を進めたチームもあったかと思います。私はこれも大事な文化交流だと感じました。

今回の交流会、ほとんどの参加者が緊張をして参加したと思いますが、緊張が解けるのが早く、初めから良い雰囲気で行うことができました。プログラムの「地域紹介」で取り上げられたトピックはとても興味深いものでした。スライドを通しての紹介でしたが、発表中も参加者からリアクションがあり、ZOOMのチャットからも盛り上がりを感じることができました。次に行われた「地域紹介についてのフリートーク」でも、参加者が興味のあるトピックの部屋に分かれることで、地域紹介で話を聞くだけでなくお互いのエピソードや意見を話して交流を深めることができました。

次の企画「ユニークを目指せ！」は、出されたお題に当てはまるものを自分の家から探して持ってくるゲームでした。このゲームでは、普段見ることができない外国のものを見たり、持ってきたものについてエピソードを共有し話を展開させていったりと、オンラインながらも画面の向こうを知りたい、もっと見たいと思えるような交流ができました。

次に行われた「フリートーク」のテーマは趣味についてでした。事前に行ったアンケートをもとにグループ分けをしてそれぞれ同じ趣味や興味を持つ人と話しあいました。同じ嗜好を持つ人と話すことで親しくなりやすい時間を作れたのではないかと思います。次に行われたゲームは「ひらめきお絵かきゲーム」で、スタッフが出したお題に合わせて絵を描くゲームで、お互いの絵心を確認することができた楽しいゲームになりました。ゲームが終わった後の全体ルームでも他のチームの参加者同士が絵を共有して話すなどゲームが終わった後の交流も盛り上がっていました。



中曽根莉子  
群馬県立女子大学2年

最後に、締めくくりの「フリートーク」では特にテーマは決めず、移動も自由にして、もっと話してみたいと思った人、まだ話せていない人と交流することができたため、より多くの人と深く交流できる機会を作ることができたと思います。

今回の交流会も特に大きな問題が起きることなく無事に終わることができました。イベントを企画し、運営する、それを文化も言語も異なる人同士で行うことは簡単ではないと思いますが、今回のイベントも大成功し、皆が楽しむことができたことをスタッフ一同とても嬉しく思っています。

## オブザーバー参加された松香洋子さんから感想をいただきました

リコッチ様、そして皆さま

昨日は、韓国、インドネシア、日本の大学生のオンライン交流会を見学させていただいて有難うございました。とても参考になりました。

まず第1に大学生が企画、進行、しているのが素晴らしい。  
30人ものアジアの学生が集まり、みんな優しい、穏やか、友好的。  
日本語による交流会だからと言って、日本の大学生が誘導するということなく、関係がすごくフラット、平等。  
長年の実績があるから、このようなことが可能なのだと思いました。  
企画の内容が良かった。国の紹介。国花、カルチャーショック、おすすめの食べ物。そしてそれについて話し合う。  
雑談タイムなどを経て、みんなの笑顔がどんどん増えた。  
ゲームタイム。なるほど。～を1分間で探して持ってくる。～国に関係しているものを見せる、趣味について話す。アニメ、J-pop, K-pop, 映画、ドラマ、ゲーム、なるほどの若者トピック。



松香洋子  
Mpi 松香フォニック

その他の感想

時間が長い。でもface to faceの交流から考えれば、たったの4じかん？という感覚なのでしょうね。  
オンラインと現地交流の良さを考えられるようになったのはすごく良かったと思います。大学生がオンライン交流を企画、運営できるようになっているのはいいです。(コロナのおかげ?)  
日本語を学んでいる大学生にとっては、オンライン交流は最高ですね。費用がかからない、時間がかからない。また、顔がはっきり見えるから話し合えるというのもオンラインの良さですね。  
日本語があまり得意でない人たちの交流はやはり現地交流がいいでしょうね。ボディランゲージとか、空気があるから。

## ～声～

色々な形で届いている、皆さまの声から抜粋させていただき、皆さまにお届けします。

### 多文化交流オンラインについて：

☆Facebook へのスタッフからの報告の中から：「参加して下さった皆さん、楽しんで頂けましたか？（中略）オンラインだからこそこからでも気軽に参加することができ、お互い遠く離れた場所にいてもこうして楽しく交流することができるのだと思います。」

☆学生が交流しながらプログラムを作成されたのは、本当にすごい事です。

残念ながら8月のオンラインは参加できませんでしたが、9月23日から始まるコースに何らかの形で参加させていただけると幸いです。

### 6月号のニューズレターの卓話について：

☆いまから半世紀近くも前の1975年に、多文化交流の種が蒔かれていたのですね。

現在の多文化交流の広がりを見たら、きっとアイスターホールド先生も喜ばれたらと思うました。

☆アイスターホールドさんとの友情がすごいですね。人間はそうやって信頼した人とともに人生を作っていくのですよね。胸が熱くなります。私もそうです。「みんなちがって、みんないい」まさにその通りです。かねこみずずさん、大好きです。これからいよいよライブのプログラムを再開されるということで、今後が楽しみです。

☆今回はアイスターホールド先生に関する記事を読ませていただきました。あのプログラムが太田先生の多文化交流の原点だった事を知り感銘しました。私にとってはアメリカ南部と言う特異な世界を体験することが出来、貴重な体験でした。

## メールアドレス変更

前号でもお知らせしましたが、IIMS 新アドレスは [iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com) です。これまでの [totatakao.iims@gmail.com](mailto:totatakao.iims@gmail.com) は所長、太田敬雄の個人のアドレスとなります。これまで同様にご利用いただけます。

### ニューズレターのお届け方法について:

現在、ニューズレターは紙媒体でお送りしている方と、メールでお送りしている方が有ります。お届け方法の変更希望がございましたら [iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com) にご連絡ください。

### 「違いを認め合い、受け入れ合う中で友となる」

友達の輪が目指す平和な地球社会創りが増々求められる時代となっています。使命感を持って、これからも「多文化交流活動」「オムニバス講座」など力強く推し進めて参ります。お支え下さい!

### 会費及びご寄付のお振込みについて:

#### 【クレジットカードによる手続き】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ  
<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

#### 【振込用紙による手続き】

ニューズレターを郵送させていただき皆様には、振込用紙を同封させていただきます。これは請求書ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。郵便振替口座ご利用の方はご活用ください。

入会ご希望の方: 「入会希望」と一言添えて年度会費お振込み下さい。

6月24日から9月15日までの入会者: (敬称略)

賛助会員入会: 田中愛子、 学生会員 2022 年度入会: 長岡もえ、

会費・寄付振込状況: 2022.6.23.~9.15. (カード: 6.1.~8.31.) (敬称略)

正会員会費: 關橋賢、村田元、金井美由紀、

賛助会費: 青木洋子、田中愛子、木村隆、丸山武子、森泉英司、高橋美一、金井優季、本島靖子、吉田省史郎、佐藤貴雄、青葉由香、岩井均、

一般寄付: 丸山武子、村井田和夫、齋藤正典、金井美由紀、田中志乃、吉田省史郎、新井瑞穂、千木良和子、岩井智子、

まなべる寄付: 田中志乃、 多文化交流寄付: 田中志乃、松香洋子、

毎月寄付 (カード): 樋本達之、福崎結子、田村珠里、根岸大輔、Rosdiana Febriyanti、藤本恵大、内野春香、片岡謙、ファン翠、

編集後記: ◎コロナに加えて激しく暑い夏。「模範的な後期高齢者だ!」と威張りながら、ひたすら我が家に籠っておりましたら、庭は自生している草花に完全に占領されていました。中でも、背丈2メートルを越すコスモスには圧倒されます。◎今は次々と発生する台風に神経を尖らす日々。その中でも、前を向いて進みたいと思います。人の目は前しか見えないのですから、後ろを気にするのは人間らしく無いのだと思っています。(敬)

発行: 特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
事務所: 379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3  
電話: 027-382-5998 FAX: 027-382-6393  
研究所: <http://www8.wind.ne.jp/mthc>  
メールアドレス: [iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com)  
まなべる: <https://www.manapal.jp>  
メールアドレス: [mail@manapal.jp](mailto:mail@manapal.jp)  
郵便振替口座: 加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974